

わらじ作り・道の神様 (田淵)高原地区

スマートフォン、PCでもかわら版を

2月2日高原地区で背丈ほどある大きな“わらじ”作りが行われました。最初藁を10本ほどに束ねたものを作り、それを藁縄3本を編んで一本にした太い藁縄の間へ3人で編んでいく。約2時間かけて作り上げられました。この大きな“わらじ”は、毎年初午の日に神主さんにお祓いしてもらい、高原地区の入り口の小さな祠のところに掛けられます。いわれを聞くと、その祠は道祖神で、別名を「塞の神」ともいい、道を司り、不幸を村に入れぬという神様で、さらに旅人の安全を守るという神でもあり、それらのことから、“足の神様”としてもあがめられ、毎年作って奉納しているそうです。(一部ネットからの情報含む)



半世紀以上の歴史ある“わらじ”作りですが、高齢化で継承が難しくなっており、この日も次の世代の方達に指導しながら作られていました。



左が今年。右は昨年の物で来年の“とんど”で焼かれます

サロン活動

国貞地区と鈴家地区のサロンに伺いました。参加されていた方々は、とてもいい笑顔で、福山地区老人クラブの囲碁ボール大会で見られた、それぞれのチームの特色を感じられ、ゲームを楽しまれました。



国貞地区



鈴家地区

「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」で感染症対策!

山の学校 ランチ

4月限定メニュー(予定)

2日	パラ寿司とミニうどん
9日	豚テキ定食
16日	酢鶏定食
23日	とんかつ定食
30日	焼き魚定食

新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、休業の日が生じる場合、メニューの変更が生じる場合があります。ご了承ください。
営業日に関する問合せ：0868-75-7126

山の学校



“わらび採り場”の野焼きを行い、この春の体験に備えました。



外階段に要望されていた手摺を設置



これからのシーズンに備えピザ窯の煙突掃除

山の学校 生け花 景色いけ

杉本幸子さんがいけてくださる玄関ホールの大きな生け花。それとは別に、嵯峨御流の“景色いけ”という生け花もいけてくださっています。



地水の景 (R2.2)



河川の景 (R1.8)



野辺の景 (H31.2)



深山の景 (H30.10)

七景の内、四景をこれまでに

うすらひ
薄氷をつぶして今日も花に水
うすらひや轍の光る里の道
薄氷の底まで見せる光の矢
愛らしき声で鳴く鳥浅き春
オリオンの大き寝姿春浅し
うすらひは東の間ありて消えにけり
山寺の雪に華やぐ大銀杏
薄氷のとける音やぐ大銀杏
浅き春少し戸を開け胸ふるひ
うすらひを割りて微笑む童あり
浅き春見えぬもの降る向う山

真野 春名 豊田 樽井 樽井 衣田 沖田 丘乃 井口 井上 阿 青山
雅子 はるを 絢子 千草 悦子 美代子 美和子

山家川俳句会

今月の俳句

(掲載五十音順)

2月開催会議より

グリーンサービスふくやま 2月理事会 (2月7日)

前回理事会以降の経過報告、今年度末までの予約状況を確認の後、主に総会へ向けての日程・準備、前回理事会での決定事項の確認、次年度からの体制等についての協議が行われました。

社会福祉協議会 第3回福祉会議 (2月26日)

経過報告、今後の予定、75歳以上の一人暮らしふれあい訪問についての確認の後、サロンについて、地区・組織からの福祉課題、新たな問題提起を含めての情報交換を行いました。また、美作市社協と地域包括支援センターからの「美作お助け隊の活動」と「介護保険サービスの利用の仕方」についての説明を受けました。



福祉会議

編集者：ふくやま いいとこ発信隊 (福山地区 地域おこし協力隊 中野祐一)
連絡先：0868-75-7126 (さくとう山の学校 取次) Email: gs.fukuyama@gmail.com
編集後記：福山地区地域おこし協力隊として移住してきた年(平成29年)の6月に「あればいいなと」いう想いで創刊し、その後皆さんに福山地区の情報誌として認めて頂き発行を続けて約3年。この34号が協力隊の活動として発行する最後となりました。続けて来られたのは情報を提供していただき、快く取材に応じてくださった皆さんのおかげです。ありがとうございます。心より感謝申し上げます。(中野祐一)